

主催：日本ソルフェージュ研究協議会

第6回 研究発表会

日時：2014年 **11**月**9**日（日）
午後2：00～4：00（1：40開場）

会場：東京藝術大学5-109大講義室

◆小笠原 北斗（東京音楽大学大学院音楽教育専攻ソルフェージュ研究領域修了／埼玉県中学校教諭）

「左手のためのピアノ作品」

その存在意義と演奏法に関する一考察

左手のピアノ作品を演奏する上で必要となる知識や技能を紹介し、またそれらを習得することで身につくソルフェージュ能力にも触れる。また、左手のピアノ作品の存在理由や現代における有用性、両手演奏との関連についても触れ、左手ピアノ作品が持つ音楽性について述べる。

◆引間 友美（国立音楽大学大学院音楽研究科作曲専攻修士課程ソルフェージュコース修了）

ソルフェージュ教育における認知の可能性

本発表は、楽曲を総合的に聴取する能力を育成するために、今日のソルフェージュ教育に認知の視点を取り入れることを提案するものである。私たちが楽曲をどのように認知しているのかを、認知心理学の視点から取り上げる。また、モーツァルト作曲《セレナーデ第9番“ポストホルン”》より〈第3楽章コンチェルタンテ〉を用いて行った研究授業から、認知の視点を取り入れたソルフェージュの成果と学生の認知における現状を明らかにする。

▼入場料：

一般	1,000円
学生	500円
賛助会員(個人)	500円
(会員無料)	

▼問い合わせ先：

日本ソルフェージュ研究協議会事務局
Tel. 090-5566-8567
E-mail : ni-sol-ken@island.dti.ne.jp

